平成30年度 高圧ガス取扱者保安教育講習会

平成30年4月13日 · 17日

高圧ガスの使用について

- ・ボンベガス使用申請
- ・高圧ガスボンベの発注・返却
- ・ボンベの設置・保管
- ・事故の報告

ボンベガス使用申請について

全てのボンベガス・集中配管水素



新規・継続に関わらず使用申請書を 各コース責任者のポストへ提出 締め切り:5月9日(水)



高圧ガス委員会で書類審査 随時受付 高圧ガス委員会(7回/年) 開催日ごとに審査



発注・使用可能

今年度の申請で、平成31年5月末日まで有効

ボンベガス使用申請書の作成

同一種類のガスでも使用方法・形態が異なる場合はそれぞれ使用申請書を提出

高圧ガス使用申請書:下記アドレスのHPからもダウンロードできます http://www.se.tmu.ac.jp/jimu/1_syomu/202%20kouatsugasu/index.html

> <u>登録番号:</u> No (事務局が記入) (申請日) 平成 年 月 日

高圧ガス保安管理部会 宛

平成 年度 高圧ガス使用申請書

申贖者氏名	教授・連教授・助教・技術業長(数当を○で囲む)	主たる使用者	身分 ()	※申請者(使用責任者)は教授・准教授・助教・ 技術業員に限る。			
(使用責任者)		の身分・氏名			請者(使用責任者) 以外に RA・研究員・特任教員・		
所属		研究室名		申請者連絡先	内線:		
申請区分	新規 · 維納		組織の場合は哲年度の登録者 号を右に記入して下さい。	No.			
ガス区分	支燃性 - 可燃	性 - 1	*性・その他	(験当を〇で囲んで下さい)			
使用室醫号	号館 10号館は棟名も記入(号室(内線:)	同時に使用するポン	べ本数 本		
使用目的							
使用するガスの 推験及び組成							
宣都容量	3.4L • 10L • 47L	その他	()	※必要最小容量の容器であること			
充填量		MPa 又は kg	使用圧力		MP		
使用期間	平成 年 月	~ 平成	年 月				
使用頻度		(回/週)	使用量		(L/回		

使用損度	(回/週)	使用量	(L/回)
(使用状況)	95	272	
同室、同一種類のガスでも、他	使用方法·形態が異なる場合はそれぞれ	れ提出して下さい。	

(使用状況欄への記入内容)

例: Claの場合には、1分間に10mg以下に排出量を抑えれば基準以下となる

申請区分: 新規・継続

継続の場合は前年度の登録番号をその右に記入

ガス区分:支燃性・可燃性・毒性・その他

支燃性: O2, 空気など

可燃性: H₂, CH₄, CO, C₂H₂, C₂H₄など

毒性: Cl₂, CO, NH₃, HCl, SF₆, H₂Sなど

その他(不活性ガス等): N₂, CO₂, Ar, Heなど

使用状況・無害化の方法:

すべての区分のガスについて

ガス供給・排気系略図ボンベや実験設備の配置、

ドラフト・検知器等の位置

毒性ガスの場合

上記に加えて、利用時の無害化の方法(必須) を記入

[・]ガスの種類を問わず、ガス供給・排気系略図…ポンベや実験設備の配置、ドラフト・検知器等の位置を必ず記入するこ

と。 ・毒性ガスの場合においては、上記に加えて、利用時の無害化の方法(必須)を記入すること。

[※]毒性ガスの排出基準 Cl::1.0(mg/m')以下,HCl+HBr:5.0(mg/m')以下,H:S:10.0(mg/m')以下,CO+NH:50.0(mg/m')以下、ドラフトの排気量:10-15(m'/min)

高圧ガスボンベの発注から返却まで

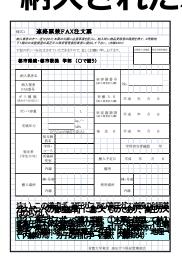
全てのガスボンベに登録が必要!!

「連絡票兼FAX注文票」を作成,業者に発注

http://www.se.tmu.ac.jp/jimu/1_syomu/202%20kouatsugasu/index.html からダウンロード













伝票のゴム印



・登録番号を記入



使用後のボンベガスは業者に連絡し、速やかに返却

ボンベの設置・保管について

ボンベは必ず立てた状態で保管すること!

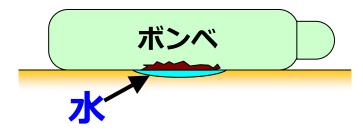


かならず転倒対策をすること! 使用しないボンベはボンベ保管庫へ



横にした状態で保管しない!

湿気やこぼれた水で横腹が腐食して爆発するおそれあり (ボンベの横腹は薄く、底部に比べて腐食に弱い)



5年以上保有のボンベガスは返却・新しいものに更新

事故の報告について

ガス漏れ等の事故があった場合は事故報告書を必ず提出すること!

	事 故 等 報 告 書
報告者	コース名: 研究室名: 氏 名: 内線番号:
報告年月日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
事故発生の 日時及び場所	平成 年 月 日 午前・午後 時 分 館(棟) 名: 館(棟) 階 : 店 部屋 : 宝
事故の原因 (実験による 事故の場合、実 験内容も記載 する)	
経過 (事故発生か ら発見までの 経過を詳細に 記載する)	
被害状況	
事故再発防止のための対策	
	報告内容に また 平成年月日 系・部 型 管理

事故等報告書のダウンロード

http://www.se.tmu.ac.jp/jimu/1_syomu/i

ndex.html

記入事項

報告者:コース名・研究室名・氏名・内線番号

報告年月日

事故発生の日時及び場所

事故の原因:実験の内容も記載

経過:事故発生から発見までの経過を詳細に記載

被害状況・事故再発防止のための対策

ガス漏れ事故(H26.3.7)

都市ガスの元栓を閉め忘れたまま放置。ガス バーナーへのガス配管(ホース)が劣化してい たため、ガス漏れが発生。